



私大協発第17653号
令和7年7月31日

各大学 理事長 殿
大学教務部(課)長

日本私立大学協会
会長 小原 芳明
大学教務研究委員会
担当理事 後藤 泰之
委員長 安井 利一

(印影印刷)

令和7年度(通算第62回)「大学教務部課長相当者研修会」の開催について

盛夏の候、貴大学益々ご隆昌の趣、慶賀の至りに存じます。

本協会は、大学教育・学術研究に果たす大学教務の役割の重要性に鑑み、昭和38年度以来、「大学教務研究委員会」を常設して、大学教務の在り方をはじめ、学士課程教育の充実と大学設置基準等の改正、大学院の充実と学術研究体制の整備、入学者選抜方法の改善、開放制教員養成制度の堅持と充実等の諸問題について研究するほか、加盟各大学の教務部(課)長相当者の資質向上に資するため、毎年「大学教務部課長相当者研修会」を開催してまいりました。

本年度の当研修会につきましては、本協会の令和7年度事業計画に基づき、大学教務研究委員会において諸準備を進めてまいりました結果、同封の「開催要項」「日程(予定)」のとおり、来る10月14日(火)から15日(水)までの2日間にわたり、浜松市「オークラアクトシティホテル浜松」会議室において開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

今回は、メインテーマを「学修者本位の教育を牽引する私立大学～知の総和答申と教育の質の向上～」と定め、教育のDX化や学修支援体制の整備をはじめとする私立大学の教育の質向上の取り組みと高等教育改革の諸動向について、講演および班別研修等による総合研修を行うことといたしました。

つきましては、これらの研修課題の重要性をご斟酌賜り、尊台をはじめ貴学の教務部(課)長相当のほか、教務委員長等の教員の方々にも多数ご参加いただけますようお願いを賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、貴大学からの参加申し込みにつきましては、研修会参加費のお振込み終了後、本協会ホームページ(<https://www.shidaikyo.or.jp/>)の「加盟大学専用サイト」より、来る8月29日(金)までにお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

令和7年度（通算第62回）「大学教務部課長相当者研修会」開催要項

主催 一般財団法人 私学研修福祉会
協力 日本私立大学協会

1. 開催趣旨

大学の教育・学術研究の充実に関する共通の基本問題について、教務部（課）長および相当者による共同研修を行い、大学教務業務の改善を図るとともに、教務部（課）長および相当者の資質向上につとめ、もって大学教育および学術研究の充実発展に寄与することを目的といたします。

2. 参加者

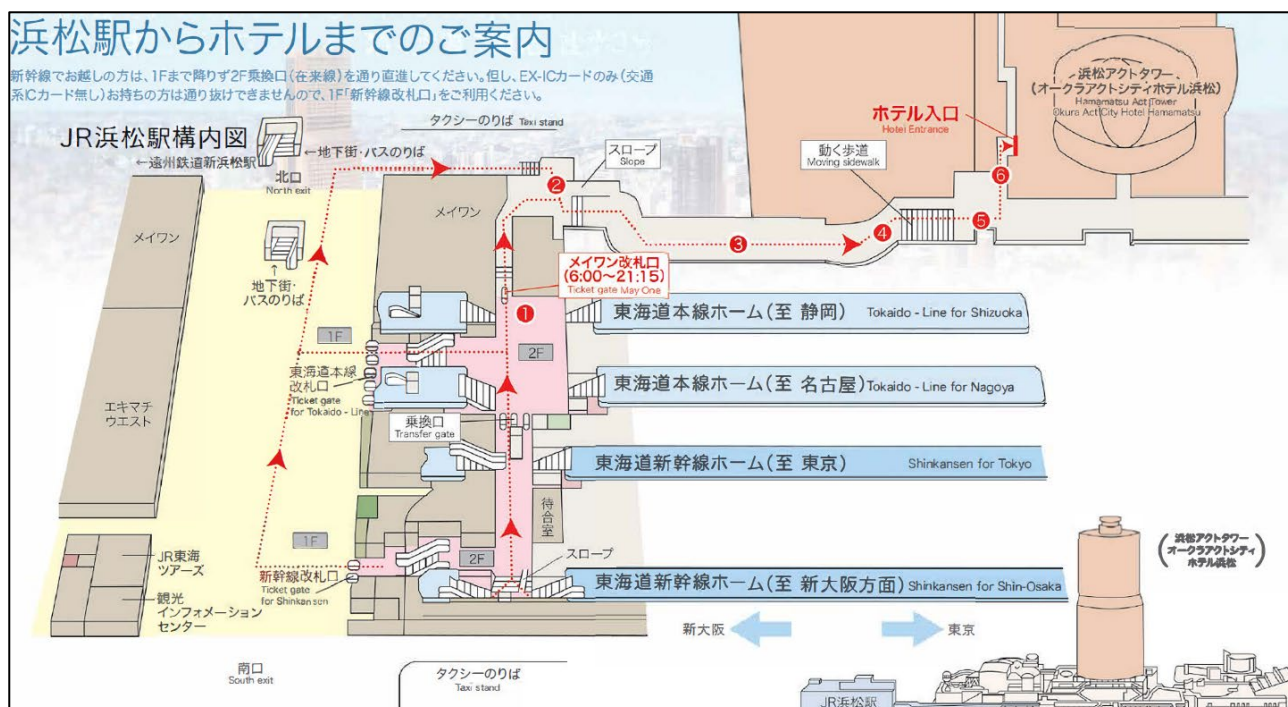
- (1) 資格 ① 各大学の教務部（課）長および教務委員長、またはその相当者
② 理事長・理事・学長・事務局長
- (2) 参加者数 1大学3名以内とします（厳守）。ただし、当研修会準備運営委員は含みません。
- (3) 今回の研修会は、「学修者本位の教育を牽引する私立大学～知の総和答申と教育の質の向上～」がメインテーマとなりますので、教員の方々にも多数ご参加いただけますようご高配のほどお願い申し上げます。

3. 開催日時

自 令和7年10月14日（火）12時30分開会（受付開始12時00分）
至 令和7年10月15日（水）15時00分開会

4. 研修会場

（会 場）浜松市「オークラアクトシティホテル浜松」会議室 受付：4階「平安」
（所在地）浜松市中央区板屋町111-2（〒430-7733）
（電 話）053-459-0111（代表）（URL）<https://www.act-okura.co.jp/>
（交 通）JR浜松駅メイワン改札口（東口）より徒歩3分



5. 研修日程・研修課題について

「日程（予定）」（p 5）をご参照ください。

6. 班別研修について

- (1) 班別研修は、①総合系、②人文・家政系、③社会・福祉系、④理工系、⑤芸術系、⑥医療・看護系、⑦医・歯・獣医・薬系の学問分野別の班編成とさせていただきます。
- (2) 留意事項
 - 諸準備の関係から、参加申込締切後の班の変更には応じられませんので予めご了承ください。
 - 班別研修では「協議課題」として、「日程（予定）」の「4. 班別研修（1）」に記載の4つの課題を設けておりますので、参加申し込みの際にこの協議課題に関するアンケートへのご回答をお願い申し上げます。
 - お申し込みの際にご入力いただくメールアドレスについては、班別研修の所属班の中において、共有させていただきます。班別研修の実施に関して、後日、運営委員より連絡させていただきます場合等がございますので、大学ドメインのアドレスをご入力ください。
 - 班別研修の学問分野については、希望人数の関係で同系列の班を複数、または合同とする場合があります。

7. 研修会参加費について

(1) 研修会参加費について

参加者1人当たりの「研修会参加費」は、次の通りとなりますので、下記の銀行口座宛にお振込みください。

(内訳)	①研修会参加会費	15,000円
	②情報交換会費（10月14日）	9,000円
	合計（研修会参加費）	<u>24,000円</u>

(注) ①情報交換会に参加されない方は、合計金額から情報交換会費を差し引いた金額（15,000円）をお振込みください。

②その他諸経費（旅費、宿泊費、食事代など）は、各自でご負担ください。

(振込先)

①銀行口座：三菱UFJ銀行「神田支店」 普通預金 No. 1186469
②名義人：イッパシイダンホクジンガケンシュウフクカイ (シタイヨウカイケン)
一般財団法人私学研修福祉会（私大協会口）

(お願い)

- ①振込手数料については、各大学にてご負担くださいますようお願い申し上げます。
- ②研修会参加費をお振込みの際、振込依頼人名は「法人名」もしくは「大学名」をご記入ください。
- ③「領収書」については、お振込みいただいた各金融機関の指定する「振込金受取書」等をもってかえさせていただきます。
- ④研修会参加費納入後にご欠席の場合、研修会開催7日前（10月7日（火））までに本協会事務局宛にご連絡いただければ、研修会参加費（振込額）を全額返金いたします。なお、10月8日（水）以降にご連絡があった場合にはご返金できませんので、あらかじめご了承ください。

(2) 宿泊について

研修会期間中の宿泊については、各自でご手配ください。

(3) 食事代について

情報交換会会食（10月14日）および、昼食（10月15日）を除き（この費用は「研修会参加費」の一部としてご納入いただきます）、すべて各自でご自由にお済ませください。

8. 研修会の参加申し込み方法について

- (1) 申し込み手続きの際、研修会参加費の「振込日」、「振込金額」、「振込名義人（振込依頼人）」の入力が必須となりますので、研修会参加費のお振込み終了後、本協会ホームページ（<https://www.shidaikyo.or.jp/>）の「加盟大学専用サイト」よりお申し込みください。なお、申込締切日までにお振込みが間に合わない場合、振込予定日等でお申し込みください。

※「加盟大学専用サイト」へのログインID・パスワードがご不明な場合、各大学からご登録いただきました情報管理担当者にお問い合わせください。

- (2) 締切期日

令和7年8月29日（金）まで（厳守）

- (3) 留意事項

参加申込後、①自動返信の「申込受付」メール、②事務局における申込内容の確認後に「受付完了」メールを送信いたします。参加申込から1週間以上経過してもメールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

※自動返信の「申込受付」メールについては、迷惑メールとして認識される可能性もありますので、メールが届かない場合はご面倒をおかけいたしますが、迷惑メールフォルダ等もご確認ください。

9. 研修会の報告書作成について

本研修会においては、研修成果をさらに広めるため、研修会終了後、研修会報告書を作成して、本協会ホームページの「加盟大学専用サイト」に掲載いたしますので、ご活用ください。

10. 個人情報の取り扱いについて

本協会は、個人情報を適切な安全対策のもと管理し、漏洩などの防止に努めます。また、法令などに基づき開示する場合を除き、ご本人の同意なく開示・提供はいたしません。

本協会は、当該研修会に参加申し込みをいただいた「個人情報」を本年度の当研修会の運営および今後の研修・研究活動に必要な範囲において利用させていただきます。

～注意事項～

- 全体研修・班別研修中の録音・録画・撮影は、原則禁止とさせていただきます。
- 研修会場内の空調管理はおこないますが、各自、衣類等で調整できるようご準備ください。

【問い合わせ先】

日本私立大学協会「大学教務部課長相当者研修会」係 （担当） 吉川智江

（TEL） 03—3261—7049 （E-mail） kyoumu@shidaikyo.or.jp

＊（問い合わせ時間） 月曜日～金曜日 9時～17時

令和7年度 大学教務部課長相当者研修会 日程（予定）

主催 一般社団法人私学研修福祉会
協力 日本私立大学協会

メインテーマ：学修者本位の教育を牽引する私立大学～知の総和答申と教育の質の向上～

【日 程】令和7年10月14日（火）～15日（水）—1泊2日—

【会 場】浜松市「オークラアクトシティホテル浜松」会議室

【住 所】静岡県浜松市中央区板屋町111-2 (TEL) 053-459-0111

【1日目】 10月14日（火）

12:00 ～ 12:30	◎ 受 付
12:30 ～ 12:50	I. 開 会：日本私立大学協会常務理事・事務局長 小 出 秀 文 日 本 私 立 大 学 協 会 副 会 長 II. 挨拶：大学教務研究委員会担当理事 後 藤 泰 之 愛 知 工 業 大 学 理 事 長 ・ 学 長 III. オリエンテーション：事務局
12:50 ～ 13:25	IV. 報告及び研修 1. 総論「いま教育の「質」を考える～メインテーマの背景と設定の趣旨～」(35分) 解 説 者：明 海 大 学 理 事 ・ 名 誉 教 授 安 井 利 一 委員長 ⇒「知の総和」答申をはじめ、大学に対して教育の「質」の保証と向上とが盛んに求められている。教育の「質」を改めて考えるとともに、本年度研修会のメインテーマの設定の趣旨と、当委員会の研究活動を含めた本研修会の狙いについて解説する。
	休憩（15分）
13:40 ～ 14:20	2. スチューデント・サクセスを促進させるアカデミック・アドバイジング（40分） 講 師：創 価 大 学 学 士 課 程 教 育 機 構 教 授 山 崎 め ぐ み 氏 日 本 ア カ デ ミ ッ ク ・ ア ド バ イ ジ ン グ 協 会 理 事 ⇒ 学修者本位の教育を進めるにあたっては、履修指導をはじめとする学修支援体制がかかせない。学生の将来目標を明確にし、その実現を支援する取り組みとして運用されるアカデミック・アドバイジングについて学ぶ。
14:20 ～ 15:00	3. 文理融合型教育によるAI・データサイエンス人材の育成（40分） 講 師：敬 愛 大 学 情 報 マ ネ ジ メ ン ト 学 部 特 任 教 授 高 橋 和 子 氏 ⇒ AIなどのデジタル技術の進展を背景に、DX人材の育成や教育のDX化が大学教育の重要課題となっている。小規模大学の強みを活かし、全学で展開される文理融合型の副専攻「AI・データサイエンス」の取り組みから、AIやデータサイエンス人材の育成について考える。
	休憩・会場移動（30分）

15:30 ～ 17:30	4. 班別研修（1）（120分） ⇒ 学問分野の班編成により、共通協議課題を通じて、各大学における教育と研究、大学教務に関連する重要課題等について協議・情報交換を行う（1班約30～40名）。 [班 編 成] ①総合系 ②人文・家政系 ③社会・福祉系 ④理工系 ⑤芸術系 ⑥看護系・医療系 ⑦医・歯・獣医・薬系 [共通協議課題] 教育の質の向上 ⇒ 教育の質の向上に関する、以下の4つの協議課題から、参加者アンケートで希望の多いテーマを中心に協議を行う。 ①教育課程の編成 （例）学士力の育成、文理横断教育、教育課程の体系化 など ②教育方法の工夫 （例）教育のDX化、学修支援体制の整備、学修成果の可視化 など ③教学マネジメント（例）学内質保証体制の整備、基幹教員の活用、FD・SD など ④その他 （例）教職協働、リスキリング教育、博士課程の量的拡大 など
	休憩・会場移動（30分）
18:00 ～ 19:30	◎ 情報交換会（立食形式）（90分）

【2日目】 10月15日（水）

09:00 ～ 12:00	4. 班別研修（2）（180分） ⇒ 前日に引き続き、共通協議課題をはじめとする協議・情報交換を行う（昨日と同会場）。 — 途中適宜休憩 —
	昼食休憩・会場移動（60分）
13:00 ～ 13:30	5. 私立大学を取り巻く現状と課題（30分） 解説者：日本私立大学協会常務理事・事務局長 小 出 秀 文 ⇒ 令和8年度私学関係政府予算、税制改正要望のほか、地方私立大学の振興や私大経営・運営上の課題への対応をはじめとする私立大学を取り巻く諸情勢について解説する。
13:30 ～ 13:45	6. 研究報告「私立大学における教育研究改革の動向～令和6年度教務に関する実態調査から」（15分） 解説者：熊本学園大学教学部事務部長 江 藤 秀 昌 副委員長 ⇒ 大学教育の質保証やDX化への対応、基幹教員をはじめとする大学設置基準の改正など、各種の改革が進むなか、大学教務研究委員会が令和6年度に実施した「大学教務に関する実態調査」から、私立大学における教育研究の改善・充実に向けた取り組み状況について報告する。
	休憩（15分）
14:00 ～ 14:50	7. 大学教育の質向上・質保証に向けた高等教育政策の諸動向（仮題）（50分） 講 師：文部科学省高等教育局高等教育企画課高等教育政策室長 寺 坂 公 佑 氏 ⇒ 「知の総和」答申と、その提言を受けて検討されている教育研究の質の更なる高度化、高等教育の規模の適正化、高等教育へのアクセス確保等の制度改革や財政支援の取り組みと、今後の工程を示した「政策パッケージ」から今後の高等教育政策を概観する。
14:50 ～ 15:00	V. 閉会の挨拶：

以 上